

強いモノづくり支える京都の連携力

NKE中村圭二会長

「産学や産産など連携のポテンシャルは、会長を務めるKSRに新しい組織が充足しました。」

「継続できることが大事で、そのためには自分や自社にプラスを見いださなければなりません。連携自体が目的ではなく、産学や産産による新技術や新製品を生み出すことが目的です。」

堂々とメリット追求 事業領域拡大こそ目的

「産学や産産など連携のポテンシャルは、会長を務めるKSRに新しい組織が充足しました。」

「継続できることが大事で、そのためには自分や自社にプラスを見いださなければなりません。連携自体が目的ではなく、産学や産産による新技術や新製品を生み出すことが目的です。」



わが社の「連携」を語る

京都府は地域が持つ特性からも、産学連携や異業種交流を促す仕組みに恵まれている。大学が多く、人々は進取の気風が強く独立心も旺盛だ。京都府、京都市、企業それぞれが有機的に結び付き、連携を推進し進める求心力が働いている。

府 匠の技と最新技術融合へ 京都 「新光悦村」南丹市に産業団地開設

京都府は南丹市に匠の技術と近代産業の融合を図る新たな工業団地を構想している。名付けて「新光悦村」。江戸時代「さまさま」の分野の工人を集め、新しい技術を生み出す「新光悦村」に合わせたイメージだ。企業が独自に生産を行う工業団地としてだけでなく、地域ブランドを発信する新拠点構築を目的としている。

産業界技術振興へ取り組み

京都府は06年10月に、活用を促進する企業マッチング事業がある。市に方向や推進施策をまとめた「京都市産業科学技術振興計画」を策定した。07年度から同計画を推進する。協力的な大企業が10社あるという。

支援も集中と選択で

産学官連携による中小企業の新産業創出など地域経済の活性化の取り組みで、京都府内に本社を置く中小企業と大学の研究機関がメンバーになった研究連携のマッチング事業に力を入れている。

NKEでは創業当時のエピソードがあるという。大手電機メーカー向けに自動機を作っていたが、設計図通り作るだけでなく、改良や標準化で脱却し、下請けを進めた。社外の技術者(後に役員)との連携で改良など設計技術専門の会社を赤字覚悟で設立した。経営は赤字だったが、現在の当社の製品や技術など開発工学の基礎形成の礎になったという。

「[「コシキナビゲーター」]が好例だ。部品細などに設置、本体がY方向に自在に動いてピッチ位置を指示するシステムで、従来のような多くのランプは不要だし、棚の数やサイズに応じ自由にレイアウトできる。ソフトウェアの部分が連携の成果だ。今、自動車向け中心に搬送機などが好調だ。工場内搬送で合理化、効率化が求められており、新しいアイデアを提案する」

ベンチャー企業を把握するため、5月28日〜6月20日の約1か月間、アンケートを実施した。対象は市内に本社があり従業員300人以下、資本金3億円以下、機械や電子部品デバイスなどの製造業。主力製品のライフサイクルや売上高対比研究開発費率、技術移転先探索の有無、技術外部導入の有無などを尋ね、300社中76社が回答した。従業員数は見ると10〜50人規模が43社と最も多かった。

研究開発費を具体的に決めている企業は25社、技術移転の提案を行っている企業は20社だった。また、光学製品や分析計測機器分野などで未利用の特許技術利用を具体的に希望した企業が12社あった。市は結果を基に大企業に保有する未利用特許の具体的な模索やアプローチを行い、年度内に成果を上げたとしている。

産学官連携による中小企業の新産業創出など地域経済の活性化の取り組みで、京都府内に本社を置く中小企業と大学の研究機関がメンバーになった研究連携のマッチング事業に力を入れている。

産学官連携による中小企業の新産業創出など地域経済の活性化の取り組みで、京都府内に本社を置く中小企業と大学の研究機関がメンバーになった研究連携のマッチング事業に力を入れている。

「産・学・官」で技術を結集

インダ(京都市左京区)は計量包装システム総合メーカー。67年に京都市と連携し、電子技術と機械技術を融合、デジタルスケールを開発して以来、産学連携による研究開発を続けている。現在は近畿・関東・東北の8大学と「組み合せ計量機」の能力および精度向上や、デジタル信号技術による生産システムの稼働率向上などの研究に取り組んでいる。

製品は、スーパーなど小売店で経営効率向上に貢献する電子棚札「ESシステム」などが注目されている。生産分野でも、高速・高精度自動計量機の「コンビオートスケール」や縦型ロボット包装機「ASTRO」、X線異物検出装置「EXシリーズ」が人気だ。

島津製作所(京都市中京区)は医療機器分野で総合メーカーと連携している。2月、自社の陽電子放射断層(PET)装置に東芝メディカシステム大規模マルチチャンネルシステムを断層断層装置を相互供給する業務提携に合意したことを明らかにした。

サムコム(京都市伏見区)は主力のエッチング装置や化学組成長法(CVD)成膜装置の海外販売を強化する。08年7月販売に台湾、中国、米国にメンテナンステクニクを手掛ける新たな技術営業拠点を開設し、生産機市場の開拓を加速する。新3カ年経営計画の最終年度となる2010年度に50%まで高める。同社は05年に生産事業部を立ち上げ、研究用途向けから生産用途向けに製品戦略を転換、市場を急速に拡大してきた。

ワコール(京都市南区)の、着けて歩くとおなかを引き締めたりヒップアップができる機能性ボトムインナー「スタイルサイエンス」が好調だ。05年7月からワコールブランドでヒップウォーカーを発売し、06年7月に「おなかウォーカー」販売した。ウイングラでも同様の商品を展開し、07年6月に通算530万枚を突破。異例の大ヒットとなっている。

宝酒造(京都市下京区)は缶入りチューハイ市場を辛口系・果糖系に分け、プレミアムスタンダードと価格帯を分けて商品展開する。プレミアム市場が形成された昨秋、果汁系「おいしいチューハイ」を投入した。果汁50%・果肉入りなどが支持され、好調だ。辛口系では84年発売の元祖缶入りチューハイ「タカラ・キャンディー」の広報戦略を見直し、順調に売れ行きを見せている。

日本GPR(京都市伏見区)は省エネを実現する変圧器メーカー。台湾の華城電機と提携し、省エネを実現した変圧器を共同開発した。FR3は引火点が通常の

は周辺機器とともにライフレアウトのコンソールテーブルを併せてトータルで提案、工場など事業所内搬送効率化・合理化を実現する。また、従来機は数十冊の製本なら、2分で済む製本のため調整に10分を要した。同機は自動化で調整時間を2分に縮め、生産効率を高めた。自動化で専任作業者が不要となり、手作業が表紙・中ページ投入やパネ

太陽精機(京都市南区)の「自動無線製本機」Q4700が好調。製本部数の小口外から好評で、当初計画2万台が進む本業界のニーズに応え、本のサイズ変更も、手作業が必須だった調整を自動化し、要だった調整を自動化した。タッチパネルに製本内容を入力するだけで、最高時1350冊を製本。また、従来機は数十冊の製本なら、2分で済む製本のため調整に10分を要した。同機は自動化で調整時間を2分に縮め、生産効率を高めた。自動化で専任作業者が不要となり、手作業が表紙・中ページ投入やパ

サムコム(京都市伏見区)は主力のエッチング装置や化学組成長法(CVD)成膜装置の海外販売を強化する。08年7月販売に台湾、中国、米国にメンテナンステクニクを手掛ける新たな技術営業拠点を開設し、生産機市場の開拓を加速する。新3カ年経営計画の最終年度となる2010年度に50%まで高める。同社は05年に生産事業部を立ち上げ、研究用途向けから生産用途向けに製品戦略を転換、市場を急速に拡大してきた。

島津製作所(京都市中京区)は医療機器分野で総合メーカーと連携している。2月、自社の陽電子放射断層(PET)装置に東芝メディカシステム大規模マルチチャンネルシステムを断層断層装置を相互供給する業務提携に合意したことを明らかにした。

サムコム(京都市伏見区)は主力のエッチング装置や化学組成長法(CVD)成膜装置の海外販売を強化する。08年7月販売に台湾、中国、米国にメンテナンステクニクを手掛ける新たな技術営業拠点を開設し、生産機市場の開拓を加速する。新3カ年経営計画の最終年度となる2010年度に50%まで高める。同社は05年に生産事業部を立ち上げ、研究用途向けから生産用途向けに製品戦略を転換、市場を急速に拡大してきた。

ワコール(京都市南区)の、着けて歩くとおなかを引き締めたりヒップアップができる機能性ボトムインナー「スタイルサイエンス」が好調だ。05年7月からワコールブランドでヒップウォーカーを発売し、06年7月に「おなかウォーカー」販売した。ウイングラでも同様の商品を展開し、07年6月に通算530万枚を突破。異例の大ヒットとなっている。

宝酒造(京都市下京区)は缶入りチューハイ市場を辛口系・果糖系に分け、プレミアムスタンダードと価格帯を分けて商品展開する。プレミアム市場が形成された昨秋、果汁系「おいしいチューハイ」を投入した。果汁50%・果肉入りなどが支持され、好調だ。辛口系では84年発売の元祖缶入りチューハイ「タカラ・キャンディー」の広報戦略を見直し、順調に売れ行きを見せている。

日本GPR(京都市伏見区)は省エネを実現する変圧器メーカー。台湾の華城電機と提携し、省エネを実現した変圧器を共同開発した。FR3は引火点が通常の

は周辺機器とともにライフレアウトのコンソールテーブルを併せてトータルで提案、工場など事業所内搬送効率化・合理化を実現する。また、従来機は数十冊の製本なら、2分で済む製本のため調整に10分を要した。同機は自動化で調整時間を2分に縮め、生産効率を高めた。自動化で専任作業者が不要となり、手作業が表紙・中ページ投入やパ

太陽精機(京都市南区)の「自動無線製本機」Q4700が好調。製本部数の小口外から好評で、当初計画2万台が進む本業界のニーズに応え、本のサイズ変更も、手作業が必須だった調整を自動化し、要だった調整を自動化した。タッチパネルに製本内容を入力するだけで、最高時1350冊を製本。また、従来機は数十冊の製本なら、2分で済む製本のため調整に10分を要した。同機は自動化で調整時間を2分に縮め、生産効率を高めた。自動化で専任作業者が不要となり、手作業が表紙・中ページ投入やパ

サムコム(京都市伏見区)は主力のエッチング装置や化学組成長法(CVD)成膜装置の海外販売を強化する。08年7月販売に台湾、中国、米国にメンテナンステクニクを手掛ける新たな技術営業拠点を開設し、生産機市場の開拓を加速する。新3カ年経営計画の最終年度となる2010年度に50%まで高める。同社は05年に生産事業部を立ち上げ、研究用途向けから生産用途向けに製品戦略を転換、市場を急速に拡大してきた。

島津製作所(京都市中京区)は医療機器分野で総合メーカーと連携している。2月、自社の陽電子放射断層(PET)装置に東芝メディカシステム大規模マルチチャンネルシステムを断層断層装置を相互供給する業務提携に合意したことを明らかにした。

サムコム(京都市伏見区)は主力のエッチング装置や化学組成長法(CVD)成膜装置の海外販売を強化する。08年7月販売に台湾、中国、米国にメンテナンステクニクを手掛ける新たな技術営業拠点を開設し、生産機市場の開拓を加速する。新3カ年経営計画の最終年度となる2010年度に50%まで高める。同社は05年に生産事業部を立ち上げ、研究用途向けから生産用途向けに製品戦略を転換、市場を急速に拡大してきた。